

# 日本政治学会 会報

## The JPSA News

No. 23

MAY 1992

### IPSAラウンド・テーブルの開催について

国際交流委員長・IPSA執行委員 佐々木 毅

#### これまでの経過

昨年12月の理事会において、昨年夏のブエノスアイレスでのIPSA世界大会・執行委員会の結果を踏まえて検討した結果、1994年春に日本でIPSAラウンドテーブルを開催するという提案が承認された。それをうけて、今年の1月末、インドのマドラスで開催されたIPSA執行委員会において、私からIPSAラウンドテーブルの日本招請の申し出を行い、何の異議もなく、満場一致で受け入れられた。日本政治学会は1982年春にIPSラウンドテーブルを初めて開催した後も、IPSA関係の会議の開催についてさまざまな検討を行ってきたが、この新たなラウンドテーブルの招聘は長期にわたる検討の結果であることをご理解いただきたい。

#### 組織態勢

こうしたIPSAの決定をうけて、次のような態勢作りが行われた。まず、開催地を東京ではなく京都とし、94年3月中旬開催することにした。82年の場合と同様に、全体を包括する組織委員会を設け、その下に資金委員会と企画委員会、設営委員会を設置することになったが、前回の経験に鑑み、企画と設営とを一つの委員会に統合することにした。組織委員会の委員長には升味準之輔理事長、資金委員会の委員長には内田満前理事長、そして企画・設営委員長には村松岐夫理事が就任するという形で、態勢作りが進行している。これらの委員会の活動に際しては、各委員長から会員

に対してさまざまな協力要請がなされるものと思われる。

#### テーマとイメージ

ラウンドテーブルのテーマと具体的なプログラムは村松理事の下で検討されているが、全体のテーマは「新国際政治秩序と国内政治経済の発展」であることが明らかにされている。このテーマは冷戦の終焉以後における新しい国際秩序の進展と国内の政治的発展との関係を多角的に明らかにし、その際、日本やアジア・太平洋地域に一つの焦点をあてることを意図するものである。このテーマの内容や具体的なプログラムについては、追って村松委員長からより詳細な紹介・報告がなされると思われる。また、資金委員会は募金のための活動準備に入りつつあるが、現下の経済情勢はかつてほど良好ではなく、やや不安な出発であることは否めない。但し、今回のラウンドテーブルは前回のそれのように大掛かりなもの——ある人の言葉を借りればミニ世界大会であったという——にする意図はなく、その必要もないとの判断に立って準備を進めることが確認されている。従って、会員各位から寄付を大々的に募るといったことは、今のところ、念頭に置いていない。

それにもかかわらず、会員の各位の有形無形の御協力はこの催しの成功にとって不可欠であり、この場を借りて、各委員会に対するご支援を心からお願いする次第である。

(見出しは、事務局による。)

本号の主なニュース

- |  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| 1. 92年度研究会プログラム決まる ----- P.6,7               | 3. 92年度予算、理事会で承認 ----- P.4           |
| 2. I P S A ラウンド・テーブルを<br>94年、京都で開催 ----- P.1 | 4. 理事長選出手続き等学会運営の<br>再検討進む ----- P.3 |

1991年度 第4回理事会記録

日 時 12月7日(土) 午後1時30分～午後4時  
場 所 法政大学(富士見校舎)80年館会議室

[協議事項]

- 1992年度研究会のもち方の件  
加茂常務理事より、学会開催校の負担軽減のため、研究会報告要旨を事前郵送から会場配布に切りかえる案が紹介されたが、論議の結果、会員サービスを低下させないため、現行方式を継続することとなった。
- I P S A 円卓会議の件  
佐々木国際交流委員長より、94年度の I P S A 円卓会議の開催国として立候補する件について提案があり、了承された。次いで円卓会議開催に向けての準備として国際交流委員会を二つの小委員会 ( I P S A 関係と二国間交流 ) に再編し、拡充をはかりたい旨提案があり、了承された。
- 会員名簿の件  
加茂常務理事より、新名簿作成のため基本方針と予算 ( 概案 ) について提案があり名簿の記載事項などについて意見交換の後、了承された。
- 理事選出規程等臨時委員会の件  
山口理事長より、臨時委員会の構成 ( 有賀、五百旗頭、猪口、内山、加茂、佐々木、田中浩、堀江、安、山口 ) が紹介され、12月7日11時より開催された第1回委員会において問題状況とテーマの確認を行ったこと、第2回委員会は来年1月18日に開催の予定であること、改革案を、臨時委員会の論議を踏まえ、次回理事会に提案の予定であることが報告された。その後種々意見が出された。

- 入会承認の件  
下記の者の入会が承認された。  
島袋純、鄭求宗、三石善吉
- 次回理事会の件  
1992年3月21日 ( 土 ) に大阪または京都で開催されることが了承された。
- その他  
加茂常務理事より、理事選出規程等臨時委員会の今年度の費用としての予備費から3万円を支出する件について提案があり、了承された。

[報告事項]

- 各委員会報告  
(1) 年報委員会  
(1991年度)  
村松委員長より、現在初校の段階で、年度内刊行の予定であるとの報告があった。  
(1992年度)  
山口理事長より、藤原委員長から研究会は予定どおり順調に進んでいる、との連絡があったと報告された。  
(1993年度)  
田口委員長より、年報委員の紹介と科学研究費の申請を行った旨の報告があった。  
年報委員：田口富久治 ( 名古屋大学 )、田中浩 ( 大東文化大学 )、伊東孝之 ( 北海道大学 )、加藤哲郎 ( 一橋大学 )、田中俊郎 ( 慶応大学 )、若松隆 ( 中央大学 )、田口 晃 ( 北海道大学 )、下斗米伸夫 ( 法政大学 )、坪郷 実 ( 北九州大学 )、小野耕二 ( 名古屋大学 )、梅川正美 ( 愛

知学院大学)、後 房雄(名古屋大学)、川崎信文(広島大学)西村 茂(金沢大学)、鈴木桂樹(熊本大学)、宮本太郎(立命館大学)、懸広一郎(早稲田大学)、丸山 仁(名古屋大学)

(2) 企画委員会

(1992年度)

加茂常務理事より、大嶽委員長から共通論題は中身が固まり分科会は公募を継続中であること等の連絡があったと報告された。

(3) 文献委員長

(1991年度)

本田委員長より、印刷に入って現在初校の段階であるとの報告があった。

(1992年度)

中谷委員長より、「学界展望」方式に変えるが、研究業績の自己申告については従来どおり行うとの説明があった。

(4) 政治学教育・情報に関する臨時委員会

田口委員長より、1年次の機関アンケート調査報告書の概要を会報22号に掲載すること、2年次の個人アンケート調査結果を現在集計中であることが、報告された。

2. 学術会議政治学研連

山口理事長より、学術会議政治学研連において、来年7月に開催されるIPRA(国際平和学会)大会に際して東京(学術会議)で行われるサテライト企画を同研連の共催とする話が進行中であるとの報告があった。

1991年度 第5回理事会記録

日 時 3月21日(土) 午後1時30分～5時

場 所 京都大学会館

[協議事項]

1. 1991年度研究会企画の件

大嶽委員長より企画案が提案され、今回始めて試みられた分科会の企画の公募方式などをめぐって質疑が行われた後、承認された。なおアメリカ政治学会との交流プログラムの設定の仕方については次回理事会で決定することになった。

2. 1994年度総会・研究会開催校の件

次回理事会で決定することになった。

3. IPSAラウンドテーブルの件

佐々木国際交流委員長より、1992年1月に開かれたIPSA執行委員会で1994年度のIPSAラウンドテーブルを日本で開催することが決定された、との報告があった。同委員長より、ラウンドテーブル開催に向けた国内の組織体制として、組織委員会(委員長升味準之輔顧問)、資金委員会(委員長内田満顧問)、企画・設営委員会(委員長村松岐夫理事)およびそれらを統括する常任委員会(理事長、常務理事、前記各委員長他)を設定する件について提案があり、

承認された。

4. 1991年度決算・監査の件

加茂常務理事より決算報告が行われ、引き続き天川、武藤両監事の監査報告があり、別紙のとおり承認された。

5. 1992年度予算の件

加茂常務理事より予算案が提案され、一部訂正の上別紙のとおり承認された。なおラウンドテーブル関係の予算については別途検討することになった。

6. 理事選出規定等の改正の件

山口理事長より、日本政治学会の運営に関する改革案について説明があり、種々論議の結果、「日本政治学会理事長選出規程(案)」が一部訂正の上承認された。他については次回理事会で検討することになった。

7. 新入会員承認の件

下記の者の入会が承認された。

上野成利、香島明雄、木下真志、下川 潔、藤井 勲

8. 次回理事会の件

1992年6月13日(土)に東京大学または学士会館で開催されることが了承された。

[報告事項]

1991年度決算

1. 各委員会報告

(1) 年報委員会報告

(1991年度)

村松委員長より年度内刊行の  
予定であるとの報告があった。

(1992年度)

山口理事長から、藤原委員長  
より原稿締切6月末に向けて順  
調に進んでいる旨報告があった  
と紹介された。

(1993年度) 田口委員長より、  
科学研究費補助金の申請を終え、  
第2回研究会を開催を3月中に  
予定しているとの報告があった。

(2) 文献委員会

(1991年度)

山口理事長から、委員会の任  
務は既に終了しているとの紹介  
があった。

(1992年度)

中谷委員長より、自己申告の  
件数の紹介と編集方針(案)に  
ついての説明があり、種々議論  
の後承認された。

(3) 国際交流委員会

佐々木委員長より、APSA  
との交流を引き続き進める件お  
よびECPRとの新規の交流に  
ついて秋までに報告を出す件に  
ついて報告があった。

(4) 政治学教育・情報に関する臨  
時委員会

田口委員長より、研究成果が  
報告書としてまとめられ、任務  
は完了したとの報告があった。  
また報告書の概要は会報に掲載  
の予定であること、一般会員の  
希望者に報告書を配布する予定  
であること、委員会では政治学  
関係のデータベースの把握を継  
続的に行うために何らかの体制  
をつくる必要があるとの意見が  
出たことが紹介された。

費 目		予 算 額	執 行 額
収 入	1. 前年度繰越金	9,690,725	9,690,725
	2. 会 費 収 入	3,940,000	4,009,190
	3. 雑 収 入	100,000	149,586
	4. IPSA基金繰入	231,857	236,845
収 入 合 計		13,962,582	14,086,346
支 出	1. 研究会開催費	850,000	790,000
	A. 研究会準備金	750,000	750,000
	B. 報告者謝礼	100,000	40,000
	2. 委員会経費	560,000	560,000
	A. 年報委員会	120,000	120,000
	B. 企画委員会	160,000	160,000
	C. 文献委員会	150,000	150,000
	D. 国際交流委員	100,000	100,000
	E. 選挙管理委員会	30,000	30,000
	3. 理事会経費	70,000	57,554
	4. IPSA学会分担金	280,000	201,206
	5. 事務局経費	820,000	725,903
A. 理事長通信費	60,000	60,000	
B. 運 営 費	60,000	60,000	
C. 人 件 費	500,000	500,000	
D. 経 常 費	200,000	105,903	
6. 名簿作成積立金	350,000	350,000	
7. IPSA関係積立金	100,000	100,000	
8. 選挙管理費	360,000	360,000	
9. 会報発行費	350,000	310,628	
10. 国際交流基金へ	6,000,000	6,000,000	
11. 年報会計準備金	2,000,000	2,000,000	
12. 予 備 費	2,222,582	59,064	
支 出 合 計		13,962,582	11,514,355
差 引 残 高			2,571,991

# 学 会 ニ ュ ー ス

## 別会計(1) 名簿作成積立金

収 入	
前年度からの繰越	335,872
本年度積立	350,000
利 息	6,184
合 計	692,056
支 出	0
差 引 残 高	692,056

## 別会計(2) IPSA関係積立金

収 入	
前年度からの繰越	759,155
本年度積立	100,000
利 息	36,024
合 計	995,179
支 出	0
差 引 残 高	955,179

## 別会計(3) 年報会計準備金

収 入	
一般会計より	2,000,000
合 計	2,000,000
支 出	0
差 引 残 高	2,000,000

## 国際交流基金

収 入	
IPSA基金・積増	14,256,640
利 息	390,973
合 計	14,647,613
支 出	
APSA派遣	620,000
差 引 残 高	14,027,613

## 1992年度予算(年報会計)

収 入	
1. 年報会計準備金	2,000,000
2. 一般会計より	4,200,000
3. 雑収入	100,000
収 入 合 計	6,300,000
支 出	
1. 年報費用	4,560,000
2. 予備費	1,790,000
支 出 合 計	6,300,000
差 引	0

## 1992年度予算

### (一般会計)

		予 算 額
収 入	1. 前年度繰越	2,571,991
	2. 会費支出	7,920,000
	3. 雑収入	100,000
収 入 合 計		10,591,991
支 出	1. 研究会開催費	1,100,000
	A. 研究会準備金	950,000
	B. 報告者謝礼	150,000
	2. 委員会経費	660,000
	A. 年報委員会	180,000
	B. 企画委員会	180,000
	C. 文献委員会	160,000
	D. 国際交流委員会	140,000
	E. 選挙管理委員会	0
	3. 理事会経費	80,000
	4. IPSA学会分担金	300,000
5. 事務局経費	940,000	
A. 理事長通信費	100,000	
B. 運営費	60,000	
C. 人件費	500,000	
D. 経常費	280,000	
6. 名簿作成積立金	250,000	
7. 国際交流積立金	100,000	
8. 選挙管理費	0	
9. 会報発行費	380,000	
10. 年報会計へ繰出	4,200,000	
11. 予備費	2,581,000	
支 出 合 計		10,591,991
差 引		0

1992年度日本政治学会研究会プログラム

10月3日 琉球大学

10月4日 沖縄国際大学

共通論題は4日、分科会は3日に行われます。なお、特別講演は、前日の2日に別の会場で実施される予定です。この他、アメリカの政治学会との交流プログラムがくまれる予定ですが、分科会の一つとして組み入れるか、特別講演のプログラムとあわせて実施するかは、未定です。

[ 共通論題 ]

A. 「冷戦後アジアの安全保障」

司 会 五十嵐武士 (東京大学)  
報告者 中馬清福 (朝日新聞) 「アメリカの対アジア安全保障」  
小島朋之 (慶応義塾大学) 「中国政治と外交」  
藤原帰一 (東京大学) 「東南アジアと安全保障」  
討論者 渡辺昭夫 (東京大学)

B. 「リベラリズムの現在」

司 会 藤原保信 (早稲田大学)  
報告者 飯田泰三 (法政大学) 「戦後日本のリベラリズム：丸山真男を中心として」  
井上達夫 (東京大学) 「現代政治・法哲学とリベラリズム」  
加藤哲郎 (一橋大学) 「現代マルクス主義とリベラリズム」  
姜尚中 (国際基督教大学) 「リベラリズムとポストモダニズム」

[ 特別講演 ]

A. 「沖縄における軍事基地の現状」

金城英男 (沖縄タイムス)

[ 分科会 ]

A. 「システム論とシンボル論」

司 会 山川雄巳 (関西大学)  
報告者 大石紘一郎 (国士館大学)  
永森誠一 (国学院大学)  
討論者 依田 博 (神戸大学)  
波平恒男 (琉球大学)

B. 「日本における投票行動と業績評価」

司 会 内田 満 (早稲田大学)  
報告者 三宅一郎 (神戸大学)  
西澤由隆 (明治学院大学)  
平野 浩 (愛知県立大学)  
討論者 小林良彰 (慶応義塾大学)  
神江伸介 (香川大学)

C. 「政策過程の動態」

司 会 蒲島郁夫 (筑波大学)  
報告者 辻中 豊 「政策改革のネットワーク」  
(筑波大学)  
大山耕輔 「行政改革の政治過程」 (筑波大学)  
伊藤光利 「一党優位体制下の国会」  
(名古屋市立大学)  
討論者 恒川恵市 (東京大学)  
足立幸男 (京都大学)

# 学 会 ニ ュ ー ス

## D. 「政策過程における大蔵省：比較政治的研究」

司 会 伊藤大一（埼玉大学）  
報告者 山口二郎（北海道大学）  
真淵勝（大阪大学）  
討論者 田辺国昭（東北大学）  
水口憲人（竜谷大学）

## E. 「政治資金の規制と政党の助成：比較政治学的検討」

司 会 岡野加穂留（明治大学）  
報告者 藤本一美（明海大学）「米国の政治資金規制と国庫補助」前田英昭（駒沢大学）「英国の腐敗行為防止と政党財政」岡沢憲美（早稲田大学）「スウェーデンの政党資金規制と政党助成」  
討論者 吉田善明（明治大学）  
岩井奉信（常磐大学）

## F. 「社会契約説と現代」

司 会 田中治男（成蹊大学）  
報告者 下川潔（中部大学）「ジョン・ロック」森永毅彦（学習院大学）「イマヌエル・カント」飯島昇蔵（早稲田大学）「ジョン・ロールズ」  
討論者 前田康博（千葉大学）  
奥村大作（日本大学）

## G. 「沖繩近代史の黎明」

司 会 大畑篤四郎（早稲田大学）  
報告者 我部政男（山梨学院大学）「琉球処分」安岡照男（法政大学）「分島交渉」  
討論者 比屋根昭夫（琉球大学）  
山下重一（国学院大学）

## H. 「占領期の政党政治比較研究」

司 会 天川晃（横浜国立大学）  
報告者 福永文夫（姫路独協大学）「民政局と日本社会党」  
荒木義修（松阪大学）「占領と日本共産党」  
兵藤守男（都立大学）「占領下のドイツ政党政治」  
討論者 的場敏博（京都大学）

## I. 「ロシア革命再考」

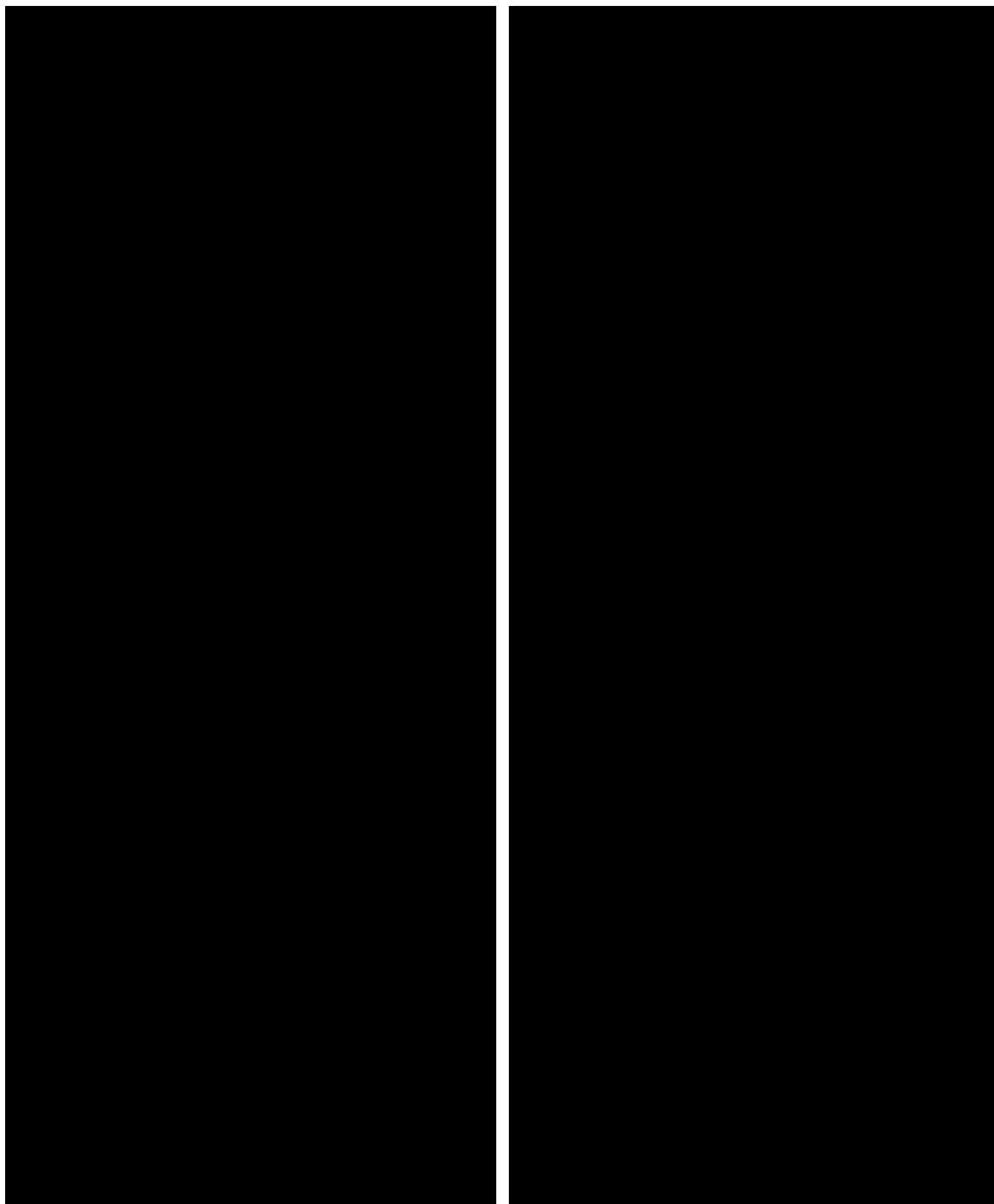
司 会 塩川伸明（東京大学）  
報告者 藤本和貴夫（大阪大学）「都市労働者」松里公孝（北海道大学）「農村」石井規衛（神戸大学）「軍隊と党」  
討論者 高田和夫（九州大学）「ロシア史の視点から」  
瓜生洋一（大東文化大学）「フランス革命の視点から」  
未定「中国革命の視点から」

## J. 「EC統合への各国の政治過程」

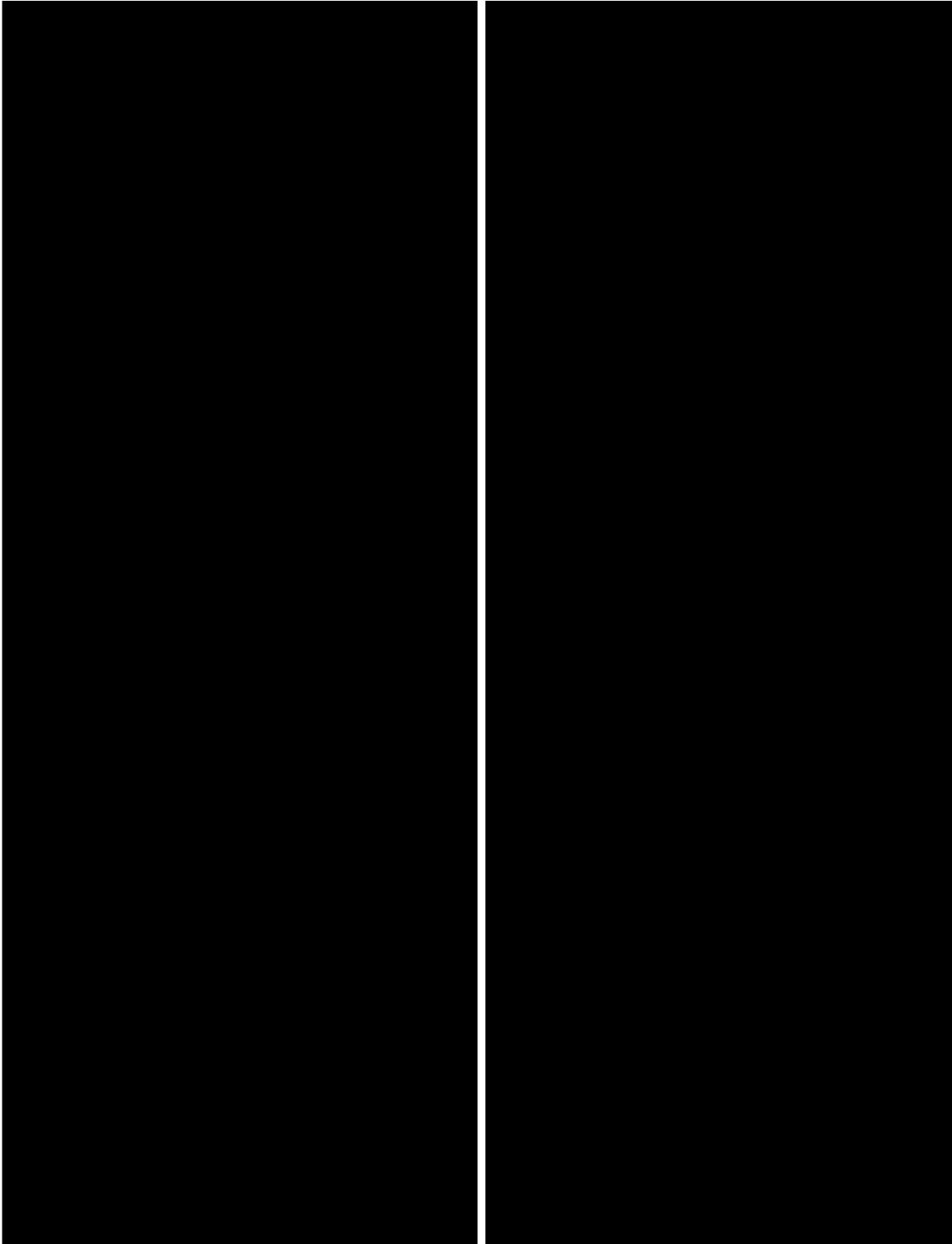
司 会 田中俊郎（慶応義塾大学）  
報告者 小野耕二（名古屋大学）「ドイツ、主として社会民主党について」西村茂（金沢大学）「フランス」林 忠行（広島大学）「チェコスロヴァキア、主として民族問題と国家統合」  
討論者 武藤博巳（法政大学）  
阪野智一（神戸大学）  
宮本太郎（立命館大学）

（92年度総会・研究会のご案内は、8月下旬頃、開催校事務局より発送される予定です。）

会 員 の 異 動 (92.5.15 現在)







事 務 局 よ り

会費納入についてのお願い

新年度にあたり、会費を同封の振込用紙にて、お支払い下さいますようお願い申し上げます。

なお、今年度より年報の会員配布制への移行に伴い、会費が改訂されましたので、以下の要領にてお支払い下さい。

1. 新会費

一般会員 7,500円  
大学院生 5,000円

2. 一般会員の場合

一般会員の方には、7,500円の金額記入済みの振込用紙を同封しておりますので、同金額をご納入下さい。

3. 大学院生の場合

現在大学院生として登録されている方には、5,000円と記入済みの振込用紙を同封しておりますので、変更のないばあいは、そのままお振込下さい。

4. 一般会員へ変更の場合

登録は大学院生だが、すでに大学院生でなくなった方は、金額欄を7,500円とご訂正の上ご送金下さい（このばあい通信欄にて名簿記載事項の変更をお知らせ下さい）。

なお大学院生とは後期博士課程の正規の学生のみで、研究生・学術振興会特別研究生などは含まれませんので、これらに該当される方は、一般会員となります。

5. 前年度会費未納の場合

91年度会費未納の会員には92年度分に3,500円を加えた金額を（11,000円）を記入してあります。

大学院生と登録されていて変更のあった方は、4.のばあいと同様8,500円を11,000円にご訂正下さい。

年報の配布について

92年度より年報の会員配布を実施いたしますが、配布の時期は93年2～3月の予定です。

会員名簿の改訂について

本年度は、本学会会員名簿の改訂をおこなうことになりました。同封のアンケートにご協力下さい。

訃 報

下記の会員がご逝去になりました。謹んで追悼の意を表します。

渡辺 保男氏（国際基督教大学）

1992年1月30日没。行政学専攻。元日本行政学会理事長。

本学会での役職：監事1976-79年。

1992年5月30日

発行 日本政治学会事務局

加 茂 利 男

〒558 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学法学部内

TEL 06-605-2336

郵便振替番号 東京 0-84250

加入者名 日本政治学会

印 刷 日幸印刷株式会社